情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU 部会（第 25 回） 議事録

1 日 時

令和 6 年 12 月 9 日（月） 13 時 30 分～13 時 53 分

2 場 所

Web 会議による開催

3 出席者

(1) 委員（50 音順(敬称略)）

伊丹 誠（部会長代理）、江崎 浩、上條 由紀子、三瓶 政一（部会長）

(2) 専門委員（50 音順(敬称略)）

和泉 恭子、伊藤 寿浩、岩田 秀行、小川 栄治、古賀 正章、佐古 和恵、
高嶋 靖彦、武田 幸子、丹 康雄、永沼 美保、西岡 誠治

(3) 総務省

近藤 玲子（審議官）

(4) 事務局

斉藤 永（通信規格課長）、澤田 和幸（通信規格課課長補佐） 他

4 議事

(1) 2024 年 ITU 世界電気通信標準化総会（WTSA-24）の結果について

(2) その他

開 会

○三瓶部会長 皆様、定刻になりましたので、ただいまより第25回情報通信審議会情報通信技術分科会ITU部会を始めさせていただきます。

現時点では、4名中3名の御出席ということで、定足数を満たしております。

本日の議題に入ります前に、配付資料につきまして、事務局より御説明をお願いいたします。

○澤田通信規格課課長補佐 ありがとうございます。総務省通信企画課の澤田と申します。事務局より、本日の配付資料の確認をさせていただきます。

資料につきましては、先週、事務局より皆様にメールにて送付させていただいておりました。議事次第のほかに資料3点、まず1つ目、資料25-1、情報通信審議会情報通信技術分科会ITU部会名簿、資料25-2、2024年ITU世界電気通信標準化総会結果概要、資料25-3、ITU部会における委員会の設置及び運営について、以上の3点が本日の資料となっております。

お手元に資料が届いていない方がいらっしゃいましたら、事務局までお申し出いただけますでしょうか。よろしいでしょうか。

ありがとうございます。事務局からは以上となります。

○三瓶部会長 本日の会議はウェブ会議での開催でございますので、皆様、御発言の際には、マイク及びカメラをオンにし、名のっていただいてから御発言をお願いいたします。

開始に先立ちまして、まず、総務省国際戦略局、近藤審議官から一言御挨拶をお願いいたします。

○近藤審議官 国際戦略局審議官の近藤でございます。

本日は、お忙しい中、皆様、ITU部会に御参加いただきまして、誠にありがとうございます。また、皆様には、平素より情報通信行政に御支援をいただきまして、厚く御礼申し上げます。

前回9月の部会では、2024年国際電気通信連合世界電気通信標準化総会(WTSA-24)の対処方針について答申をいただきました。この答申に基づきまして、今年の10月15日から24日に、インド・ニューデリーにて開催されたWTSA-24に対応してまいりました。本日は、その結果につきまして、後ほど事務局より御報告をさ

せていただきます。

対処方針の策定に当たりましては、構成員の皆様からの御支援に感謝申し上げます。今回の結果をよく踏まえまして、次回のWTSAにつなげてまいりたいと存じますので、今後とも御指導賜りますよう、よろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、私からの挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○三瓶部会長　　どうもありがとうございました。

議　事

(1) 2024年ITU世界電気通信標準化総会(WTSA-24)の結果について

○三瓶部会長　　それでは、本日の議事に入ります。

最初の議事は、2024年ITU世界電気通信標準化総会(WTSA-24)の結果についてでございます。資料につきまして、事務局より御説明をお願いいたします。

○澤田通信規格課課長補佐　　ありがとうございます。

それでは、お手元の資料25-2、2024年ITU世界電気通信標準化総会結果概要につきまして、事務局より御報告させていただきます。

では、1枚めくっていただきまして、初めに、WTSA-24の概要について簡単に御説明させていただきます。

まず、開催ですが、10月15日から24日の約10日間、インドのニューデリーにて開催されました。今回、164か国、約3,700名の参加が公表されていまして、日本からは現地に40名、日本代表団として参加いたしました。通常4年に1回開催されるWTSAですが、前回の2020年に関しましては、コロナ禍の影響で開催が延期され、2022年に開催されました。今回は2年ぶりの開催となりました。日本人の尾上誠蔵氏が去年、2023年よりITU-TのTSB局長を務めておりまして、尾上局長就任後、今回が初のWTSA開催となりました。

WTSAでは、主な議題は左下に記載の4点ありまして、次会期における研究課題の承認、次会期におけるSG、TSAG役職者の任命、ITU-T作業の指針となる決議の承認及び国際標準となる勧告案の承認となります。今年9月に開催しました第24回

I T U部会にて、答申をいただきましたW T S A－2 4の対処方針にのっとり、それぞれの議案に対して今回対処してまいりました。全体を通した御報告としては、会合前に定めた日本の対処方針から大きく外れることなく、各議題に対しておおむねスムーズに対処してまいりました。

それでは、続きまして、1枚めくっていただきまして、こちらがW T S A－2 4の会合構成になっております。全体会合、Plenaryの下に、5つのCommitteeが構成されておりまして、上から順に、COM1、会議運営、COM2、予算管理、COM3、作業方法、COM4、作業計画・組織、COM5、編集となっております。主に決議案、勧告案が審議されるCOM3、COM4では、我が国から、COM3の議長にK D D I、宮地様、COM4の副議長に本日御参加のN E C、永沼様が任命され、議論の中心となって推進されました。

続きまして、1枚、ここからが議論の結果報告となります。まずは、次会期に向けた研究委員会・課題の承認についてです。今回、W T S Aの大きな議題の一つとして、日本から提案しておりましたS G統合の議題がございました。こちらに記載ありますとおり、作業の効率化に向けS G 9と1 6の統合を提案しており、W T S AのOpening Plenary なるにて、統合が異論なく正式に合意され、最終日のClosing Plenaryにて新設された研究委員会の名称は、S G 2 1とすることが発表されました。

その他、次会期における研究委員会の研究課題についても滞りなく承認され、一部のS Gについては活動内容が変更され、タイトルが変更されました。

では、1枚めくって、続きまして、こちらが、新たな会期における各研究委員会のタイトル及び各S Gの議長と日本人役職者の表となっております。次会期役職者の任命は、W T S Aの1週目の金曜日のPlenaryにて行われ、我が国からは、S G 1 3議長に再任でN I C T、谷川様、副議長については上から順に、T S A Gに再任でN E C、永沼様、S G 3に再任でK D D I、本堂様、S G 1 1に新任でN I C Tの釧吉様、S G 1 2に再任でN T T、山岸様、S G 1 7に新任でK D D I、磯原様、S G 2 0に再任でN E C、山田様、そして、新設されましたS G 2 1にK D D I、河村様が任命されました。ここから4年間の任期をこちらの体制にて活動されていきます。

では、1枚、続きまして、今回のW T S Aにて議論されました決議案、勧告案の審議結果となります。全体のまとめとしましては、会期中は合計6 9件の決議案、勧告案の審議が行われ、その中で合計4 5件の決議、勧告の改定及び8件の新決議が承認されま

した。また、それ以外では、廃止された決議が1件、審議の結果、変更なしとなった決議が10件、新決議として提案されましたが、新審決とならなかった提案が全部で5件ありました。本日全てを御報告することはできませんが、幾つか抜粋して御報告させていただければと思います。

まず、改定の承認、新決議の承認で、1点目に、SG統合に関わった決議2と99についてです。先ほども出てきましたが、SG9と16については全地域より異議なく合意されました。しかしながら、9と16の統合後は役目を終えたとのことで、RCC地域より決議99の廃止を求める提案が提出されました。しかしながら、議論の末、決議は維持、継続してSG再編の検討はしていくことで決議の改定がなされました。

続きまして、今回新決議となったAIについてです。AIについては、3つの地域より新決議としての提案がありまして、ITU-Tのマンドートの範囲を超えないように議論が進められ、最終的には、ITU-Tマンドート内で関連する作業の中でAIを活用していくことが合意されました。

次に、メタバースの新決議についてです。こちらにも非常に注目度が高く、世界6地域全ての地域から新決議作成の提案がございました。日本からも標準化活動への中小企業の参加を促進する内容など積極的に議論に参加し、結果、新決議として承認されました。

続きまして、1枚。こちらの一覧が今回承認されました改定された決議、勧告の45件及び承認された新決議8件の合計53件の一覧となっております。赤字で記載されていますのが、新決議として承認された8件となっております。御参照いただければと思います。

続きまして、今回廃止となった決議及び審議の末、変更のなかった決議、勧告案の御報告です。廃止となった決議は全部で1件でして、こちらに記載の決議80については役割を果たしたとのことで、異議なく、廃止の合意がされました。

次に、審議の末、変更のなかった主な決議、勧告案です。こちら、3件記載させていただいておりますが、いずれの改定提案に対しても、変更の必要はないとの提案がアメリカ地域やヨーロッパ地域より提出されており、今回のWTSAで議論、審議を行った結果、意見はまともらず変更なしとなり、今後も継続して議論という形になっております。

続きまして、審議結果の最後のページになるんですけども、今回、新決議として提案され、新決議とならなかったものが、こちらに記載の5件となっております。今回の

WTSAでは新決議には至りませんでした。こちらの5件については、WTSAアクションとして具体的な行動指示が示され、議事に記録されましたので、今後も作業として継続されていくこととなります。新決議とならなかった5件並びにその他の決議等に関する指示事項を含め、合計15件が今回のWTSAアクションとして記録に残されることとなりました。

次、お願いします。最後に、先ほども触れましたが、次会期におけるITU-Tの研究体制について御報告させていただきます。次会期の研究体制は、統合されましたSG9と16がなくなり、新たに赤枠のSG21が新設、前回から1つ減ってTSAGを除いて10の研究委員会での活動となります。

以上で、WTSA-24の報告を終わらせていただきます。引き続き、日本の電気通信標準化活動における発展に向けて、皆様の御協力をよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

○三瓶部会長 どうもありがとうございました。

では、ただいまの御説明に対しまして、御質問などございましたらお願いいたします。

○佐古専門委員 佐古ですけれども、質問させていただいてよろしいでしょうか。

○三瓶部会長 どうぞ。

○佐古専門委員 今回決議されなかったデジタルID及びクレデンシャルに関する標準化作業の内容等ございますけれども、これは、もしも決議されたら、新しいワーキンググループが設立されるということになるのでしょうか。すみません、この辺の事情がよく分かっておらず、教えていただけますと幸いです。

○三瓶部会長 いかがでしょうか。これは事務局からでよろしいですか。

○澤田通信規格課課長補佐 新決議とならなかったものは、具体的に、ワーキングパーティーというのは作成されない予定でして、ただ、決議にならなかったから活動しませんということではなくて、先ほどアクションと書かせていただいたんですけど、デジタルIDに関する新決議案に対しても、今後も検討して議論していくようにという指示事項がITUの今回のWTSAの結果の議事に記載されていますので、今の質問の答えでいくと、ワーキングパーティーはできないんですけど、活動は今後も検討していくようにというのが答えですかね。

○佐古専門委員 なるほど。それは誰に対する行動指示になるのでしょうか。ここで示されているどこかのSGが引き受けるということになるのか。

○澤田通信規格課課長補佐 例えば、今御質問いただいたデジタルIDのところの新決議のアクションで記載されている内容でいきますと、もともとはイギリスと米国から、こちらSG17で既に取り扱っているというお話があり、新決議としては成立しませんでした。ただし、今後はもともと新決議となった、今回、DPIという先ほどのページであったんですけど、そちらとのマージも含めた対象を推奨として今後活動するよ
うにという指示事項が出ております。

○佐古専門委員 ありがとうございます。

○澤田通信規格課課長補佐 ですので、1ページ戻っていただいて、すみません、その次のページです。こちらの赤字の中のデジタル公共インフラ、下から3つ目の新決議となったものと、マージを含めた対処を検討していきましょうという指示事項になっております。

○佐古専門委員 ありがとうございます。このスコープなどの資料があれば、また共有いただけるとうれしいかなと思います。

○澤田通信規格課課長補佐 承知いたしました。こちら、別途共有させていただきます。

○佐古専門委員 ありがとうございます。

○三瓶部会長 では、ほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

では、どうもありがとうございました。

(2) その他

○三瓶部会長 では、次の議題、その他につきまして、事務局よりお願いいたします。

○川畑通信規格課係員 お世話になっております。総務省通信規格課の川畑でございます。

今回のSG9とSG16の統合によるSG21の設立に伴いまして、ITU部会下部委員会でITU-Tの検討をしております電気通信システム委員会の運営が先日改正されました。それに伴いまして、資料25-3でございますITU部会における委員会の設置及び運営についても一部改正させていただきたいと思っております。改正箇所としましては、3ページ目の別表の下の部分になってございます。

以上でございます。

○三瓶部会長 では、ただいまの御説明に対しまして、御質問などございますでしょうか

か。

私からですけど、具体的にはどういう考え方でこういう担当を変えることになったと理解すればよろしいでしょうか。

○川畑通信規格課係員　ありがとうございます。電気通信システム委員会の各SGの担当課室がございまして、そちらを一部統合によって改正させていただきましたので、今回のITU部会のほうでも、そちらの課室に表記をそろえる形で修正させていただいております。

○三瓶部会長　例えば、総合通信基盤局電気通信技術システム課というのが、記載する位置が変わっていたりするんですが、何かこれは意味があるんですか。

○川畑通信規格課係員　ありがとうございます。こちら、建制順、総務省の組織が記載されているものの順番に今回統一させていただきました。

○三瓶部会長　分かりました。

ほかいかがですか。

では、ありがとうございました。

それでは、本日の議事は以上になりますが、最後に、今後の予定などにつきまして、事務局より御説明をお願いいたします。

○川畑通信規格課係員　ありがとうございます。本日、WTSA-24の結果について報告させていただきましたが、こちらにつきましては、来週12月17日の第184回情報通信技術分科会での報告を予定しております。

事務局からは以上でございます。

閉　　会

○三瓶部会長　ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、第25回情報通信審議会情報通信技術分科会ITU部会を閉会いたします。本日はお忙しい中、誠にありがとうございました。